

## 《Lesson 1》 形容詞と副詞の関係

今回最初に学ぶのは、副詞についてです。副詞とは動詞や形容詞などを説明する言葉で「動詞(+目的語)の後」など、文の後半によく足されます。

<例> He taught English yesterday.【副詞=yesterday】  
(彼は昨日英語を教えました)

また、副詞によっては文の途中で使われることもあり、その場合は「be 動詞の文なら be 動詞の後」「一般動詞の文なら一般動詞の前」「助動詞の文なら助動詞と動詞の間」に足される単語でした。

<例> She is usually busy.【副詞 = usually】      <<be 動詞の文>>  
(彼女はたいてい忙しいです)

He never does his homework.【副詞 = never】      <<一般動詞の文>>  
(彼は決して宿題をしません)

I can always help you.【副詞 = always】      <<助動詞の文>>  
(私はいつもあなたを助けることができます)

そして、この副詞なのですが、実は

**形容詞に ly を足すだけで副詞になるものもあります！**

<例>

形容詞		副詞	
beautiful	→	beautifully	(美しく)
bad	→	badly	(悪く/下手に/不当に)
different	→	differently	(違うふうに / 異なって)

(1) He plays the guitar **beautifully**. (彼はギターを美しく弾きます)

(2) She studies English **differently** from Riku. (彼女はリクとは違うふうに英語を勉強します)

しかし、全ての形容詞に ly を足せば、副詞になるというわけではありません。副詞によっては「形容詞と同じ形のもの」「形容詞とは全く違う単語になってしまうもの」などもありますので、覚えておきましょう！

<例>

形容詞		副詞	
good	→	well	(上手に) 【goodly=×】
fast	→	fast	(速く) 【fastly=×】
hard	→	hard	(熱心に) 【*hardly=×】

\*hardly は「ほとんど～ない」といった別の意味の副詞。

(1) He plays soccer **well**. (彼はサッカーを上手にします)

(2) She walks **fast**. (彼女は速く歩きます)

**ポイント!**

「～に見える」という意味の look や「～に聞こえる」「～のように思われる」という意味の sound は、一般動詞ですが基本的に

・**主語 + look + 形容詞**

<例> She looks beautiful. <彼女は美しく見えます>  
(She looks beautifully. = ×)

・**主語 + sound + 形容詞**

<例> That sounds good. <それは良いですね(良く聞こえます)>  
(That sounds well. = ×)

となり、動詞を説明する副詞は使われないので注意する必要があります。

本ファイルの著作権は、著作者である藤井拓哉に帰属します。本ファイルを利用したことによる直接あるいは間接的な損害に関して、著作者はいっさい責任を負いかねます。利用は利用者個人の責任において行ってください。